

宮城県大崎保健所栗原支所 感染症発生動向調査情報

上段は圏域全体で一週間に診断した患者数 下段は一つの定点(医療機関)において一週間に診断した患者数

1. 定点把握対象疾患の発生動向

*は急性呼吸器感染症(ARI)に含まれる感染症

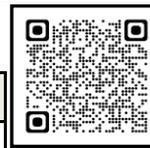
令和7年5月2日 発行

疾病	疫学週				
	15週	16週	17週	18週	
	4月7日～4月13日	4月14日～4月20日	4月21日～4月27日	4月28日～5月4日	
急性呼吸器感染症(ARI) <small>ウイルス型・細菌型・真菌型・寄生虫型</small>	647	700	689		
	129.40	140.00	137.80		
	8	18	12		
インフルエンザ*	1.60	3.60	2.40		
新型コロナウイルス感染症*	14	10	9		
	2.80	2.00	1.80		
小児科定点	RSウイルス感染症*	1	1		
	0.33	0.33			
	咽頭結膜熱*	1	4		
	0.33	1.33			
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎*	5	7	10	
	1.67	2.33	3.33		
	感染性胃腸炎	19	15	16	
	6.33	5.00	5.33		
	水痘	1			
	0.33				
手足口病					
伝染性紅斑	6	2	6		
2.00	0.67	2.00			
突発性発しん	8	1	3		
2.67	0.33	1.00			
ヘルパンギーナ*					
流行性耳下腺炎		1	1		
		0.33	0.33		
眼科定点	急性出血性結膜炎				
	流行性角結膜炎				
基幹定点	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	1			
	1.00				
	クラミジア肺炎(オウム病は除く)				
	細菌性髄膜炎(真菌性を含む)				
	マイコプラズマ肺炎		1	1	
		1.00	1.00		
無菌性髄膜炎					
拡張疾患	マイコプラズマ肺炎(小児科)		1		
	川崎病	2	1		
	不明発疹症				

大崎保健所管内定点数:内科定点2施設 小児科定点3施設 眼科定点1施設 基幹定点1施設

2. 集団発生状況 ※栗原管内の過去2週間における保健所対応状況

施設区分	保育所	高齢者・障害者施設	医療機関
対応状況	—	—	—
備考			



感染症情報



感染症予防啓発



性感染症検査の申し込みはこちら

3. 栗原支所より

◎:複数対応中、○:対応施設あり、—:対応無し

【 定点把握対象疾患の発生動向】※栗原管内を含む大崎管内

- 急性呼吸器感染症の発生が継続しています。
- インフルエンザ、新型コロナウイルス感染症、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、感染性胃腸炎、伝染性紅斑、突発性発しん、流行性耳下腺炎、マイコプラズマ肺炎が発生しています。

【 感染症コラム～ツツガムシ病～】

- ダニの一種であるツツガムシに刺されることで、ダニの保有する細菌(リケッチア)に感染して発症する病気です。発熱、特徴的な刺刺、発疹は主要3徴候と呼ばれ90%の患者にみられ、診断の手がかりとなります。
- 以前は夏季に東北の河川敷で感染していましたが、今はほぼ全国で見られます。
- 主な症状は、高熱、発疹、倦怠感、頭痛、目の充血、リンパ節の腫れなどで、感染すると5～14日ほどの潜伏期間を経て発症し、毎年数例の死亡例もあり、早期の診断と治療が必要です。
- 一般的には血液検査にて診断します。
- リケッチアに有効な抗生剤で治療します。
- 予防に有効なワクチンはなく、ダニの吸着を防ぐ服装や、作業後には入浴し吸着したダニを洗い流す等が大事です。

【 集団発生状況】※栗原管内

- 新たな集団発生はありません。

【 お知らせ】

- ゴールデンウィークの海外渡航者に対する感染症予防啓発について、情報提供します。
- 厚生労働省検疫所ホームページ FORTH

